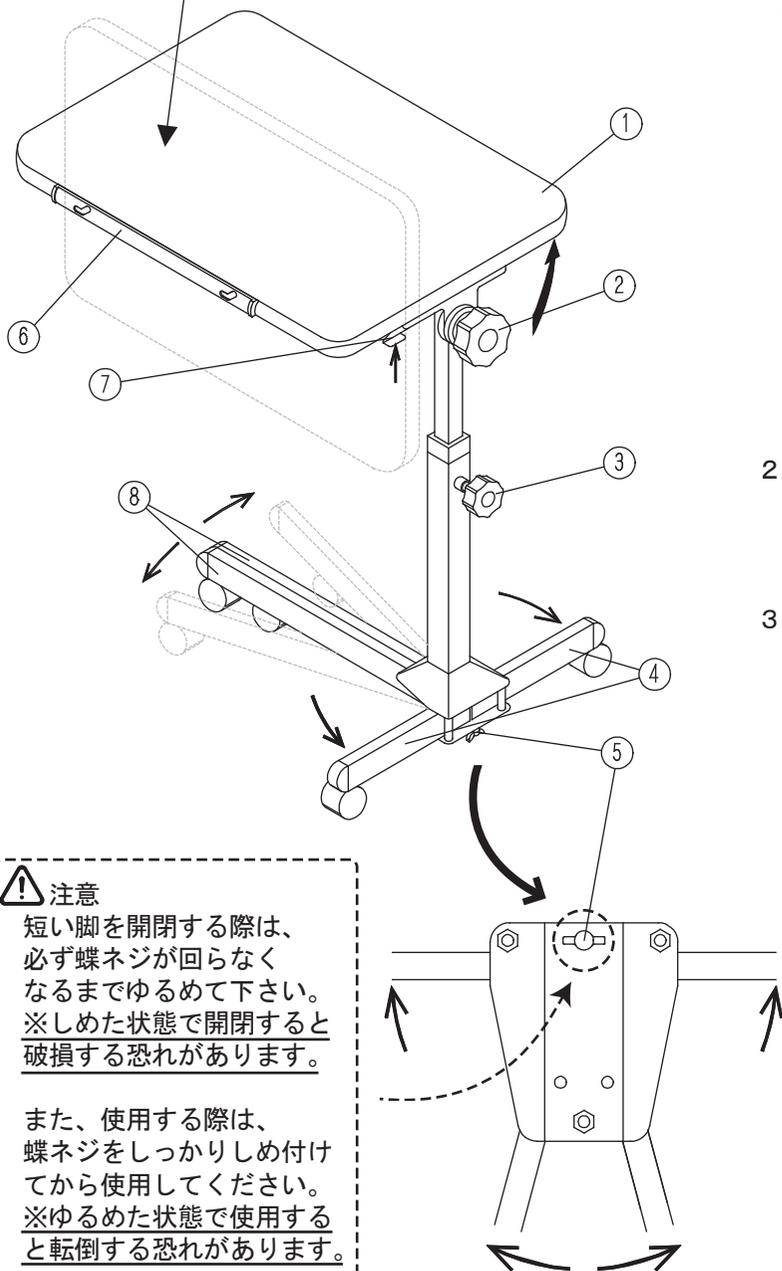


取扱説明書

天板上面にキズ防止用ビニールシートが貼っていますので、ご使用前にはがして下さい。



注意
短い脚を開閉する際は、必ず蝶ネジが回らなくなるまでゆるめて下さい。
※しめた状態で開閉すると破損する恐れがあります。
また、使用する際は、蝶ネジをしっかり締め付けてから使用して下さい。
※ゆるめた状態で使用すると転倒する恐れがあります。

1. 取扱いについて



警告

●以下の項目を守らないと、破損、故障、ケガ、物的損害を負います。



禁止

●天板に腰掛けたり、寄り掛かったりしない。

●天板に物をのせた状態での、傾斜・上下動及び移動はしない。

●使用時の許容荷重は10kgです。それ以上の重い物をのせての使用は絶対にしない。



警告

●ノブの締め込みが弱いと、天板が下降し危険ですので、ノブは確実に締め込んで下さい。

●ハンドルの締め込みが弱いと、天板が傾斜し危険ですので、ハンドルは確実に締め込んで下さい。

●天板を水平にして使用する場合も、ハンドルは確実に締め込んで下さい。

●短い脚、長い脚は、確実に開かないと、転倒する恐れがありますので、脚は確実に開いてから使用して下さい。

●スベリ止めを使用する場合に、重量物を引っかけて使用しますと、はずれる恐れがありますので、本などの軽量物にとどめておいて下さい。

●蝶ネジ等の固定ネジ類のゆるみの点検は、定期的に行ってください。

2. 取扱い方法

[2-1] ⑤蝶ネジを回らなくなるまでゆるめます。(回らなくなるまでゆるめないと脚が開けません)

[2-2] ④短い脚を左右にいっぱいまで開き、⑤蝶ネジをしっかり締め付け固定します。

[2-3] ⑧長い脚を左右にいっぱいまで開きます。

3. 操作方法

[3-1] 天板の高さを変えたい時

③ノブをゆるめて①天板を持ち上げ使用する高さにし、ノブをしっかり締め付け固定します。

ノブをゆるめる際は、天板が下降しますので、かならず天板裏面を手で支えながらゆるめて下さい。

[3-2] 天板を傾斜させたい時

②ハンドルをゆるめ、①天板裏側の⑦レバーを軽く押し上げ、天板を回転して使用する角度にし、ハンドルをしっかり締め付け固定します。

天板を水平にするには、ハンドルをゆるめ、天板を水平あたりにし、レバーが下がった位置でハンドルをしっかり締め付け固定します。

[3-3] スベリ止めの使い方

⑥スベリ止めを左から右へスライドさせながら引き上げて下さい。(本を読む時などのスベリ止めです)

[3-4] 収納する場合

①天板を90°に立て、⑧長い脚と④短い脚を梱包時のようにたたみます。(10cmの隙間に収納できます。)